学校番号	2004

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫理発展	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	倫理（東京書籍）						
副教材等	最新図説倫理（浜島書店） 要点マスター倫理　整理と演習（東京書籍）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

この科目ではいくつかのテーマにしぼり，そのテーマを深堀していきます。心理学や哲学，思想，宗教，現代の諸課題を多角的に考察し，グループワークなどでさらに理解を深め，課題や発表，ディスカッション等で表現していきます。倫理で学んだ知識をもとに現代の諸課題について考え，相手の意見を受け止め，積極的に自らの意見を表現しましょう。

2　学習の到達目標

（１）先哲の思想や思想，宗教，心理学について深く理解し，原典や資料を適切に読み取り，まとめる技能を身に付ける。
（２）人間としての生き方在り方や現代の諸課題を広く見いだし，それらの倫理的課題について，概念や理論，資料などを活用して，多面的・多角的に考察し探究する力や論理的に説明したり対話したりする力を養う。
（３）人間としての生き方在り方や現代の諸課に対して興味関心をもち，自立した人間として，主体的に問題解決しようとする態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代の諸課題を捉え考察し，選択・判断するための手がかりとなる概念や理論についての知識が定着しているとともに，原典や関連する資料から必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	現代社会の諸課題の解決に向けて，選択・判断の手がかりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して思考し，事実や理論を基にものごとを多面的・多角的に考察し，人間としての生き方在り方について構想したことを議論したり表現したりしている。	よりよい社会の実現を視野に，人間としての生き方在り方を模索し，現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 知識及び技能を獲得したり，思考力，判断力，表現力等を身に付けたりすることに向けた粘り強い取り組みを行おうとしている。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	人間としての生き方在り方の探究	心理学(認知・記憶・感情) 青年期 古代ギリシャ哲学 キリスト教 イスラーム教 仏教 中国思想 日本思想 ルネサンス 近代思想	a: 心理学や青年期の特徴，心理学，思想，宗教について，必要な知識を習得している。また，必要な情報を収集し，読み取り，まとめることができる。 b:心理学，青年期の特徴，宗教，古代思想，近代思想のなかから取り上げた課題の解決に向けて思想と関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会や人間としての生き方在り方についての自分の考えを説明，論述している。 c:現代社会における倫理的諸課題について，よりよい社会の実現や自己実現のためにさまざまな課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト	ワークシート グループワーク	ワークシート グループワーク
後期	現代の倫理的諸課題についての探究	生命倫理 環境倫理 科学技術 福祉 文化と宗教 戦争と平和	a:現代社会の倫理的諸課題について，必要な知識を習得している。また，必要な情報を収集し，読み取り，まとめることができる。 b:生命倫理，環境倫理，科学技術の進歩に関わる課題，福祉に関わる課題，文化と宗教に関わる課題，戦争と平和にかかわる課題のなかから取り上げた課題の解決に向けて思想と関連させて多面的・多角的に考察，構想し，よりよい社会や人間としての生き方在り方についての自分の考えを説明，論述している。 c:現代社会における倫理的諸課題について，よりよい社会の実現や自己実現のためにさまざまな課題を主体的に解決しようとしている。	小テスト	ワークシート レポート	ワークシート レポート 発表

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度